

平成 27 年度 一般社団法人室内環境学会第3回臨時理事会議事録

日 時：平成 27 年 4 月 24 日（金）15:00～17:00

場 所：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）セミナースペース

出席者

理事：中井里史（代表理事）、東 賢一、山口 一、関根嘉香、水越厚史、川崎たまみ、篠原直秀、
三宅祐一

オブザーバー：佐藤 博（九州支部長）

監事：榎本孝紀

欠席理事：鍵 直樹

事務局：中島大介（事務局長）、橋本一浩（会計）、色摩 操、小沼ルミ

本理事会は総理事数 9 名のうち過半数である 8 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は中井理事長が務めた。

議事次第：

1. 平成 27 年学術大会準備状況

H27 学術大会の準備状況が大会実行委員会から報告された。

シンポジウムのテーマは「温暖化対策としての温熱環境－クールビズのすすめ－」として、次の 4 演題が提案された。①クールビズの原点となっただけゆしウェアの政策的視点（沖縄県工業連合会）、②蒸暑気候における室内環境の調整と省エネルギー化（堤先生）、③近年の我が国における熱中症の実態について（小野先生？）、④米軍基地及び米国におけるクールビズと省エネルギーの動向（どなたか学会員で）。

分科会セミナーの会場は確保をしていないので、セミナーを開催する場合には追加で会場を予約する必要があり、分科会セミナーの開催有無を次回の学術委員会で確認することにした。

参加者数は少なく見積もっているが、収支予算案には若干の余裕が出ているとの報告があった。メイン会場の吊り看板作製、ポスター用の立て看板レンタル、Wi-Fi のレンタル等を追加して欲しいとの要望が出された。また、沖縄県の助成金制度に申請する予定であると報告された。

2. 委員会等報告

社会連携委員会：篠原委員長より今年度の活動計画について説明された。昨年までとは方針を大きく変更し、国内学会との連携を主題において活動していくとの説明があった。また、今後、メンバーの半数を変更すると報告があった。

学術委員会：東委員長より、新たに設立された微粒子分科会の活動計画が説明された。また、微生物分科会、燃焼器具分科会の活動計画における書籍出版に関する記述を修正・加筆したとの報告があった。

室内環境学会調査研究助成金制度に 2 件、柴田科学調査研究助成に 1 件の応募があり、5 月末に審査結果を通知する予定との報告があった。

出版委員会：川崎委員長より、18 巻 1 号については原著 4 報を始め、ほぼ全ての原稿が入稿済みとの報告があった。室内環境学シリーズ「住まいの化学物質」が出版社に入稿され、12 月の学術大会での刊行を目指しているとの報告があった。また、室内環境学シリーズ「室内環境における微生物対策」も原稿が揃い、入稿準備中との報告があった。

事業委員会：山口委員長より、2014 年講演会の実績報告があり、9 月の JASIS で開催した講演会では 29 万円の黒字、1 月の大阪開催では 3 万円の黒字との報告があった。2015 年も同様に東京と大阪で 2 回の講演会を開催予定であるが、2 回分の収支報告を 1 回まとめたという要望があり、承認された。2015 年講演会は『「におい」と「かおり」の最新情報』というタイトルで準備が進めているとの報告があった。

広報委員会：水越委員長より学術大会 HP および学会ポスター作成の進捗状況について説明された。学

会 HP のトップページに、大会 HP のバナーリンクを張り、沖縄開催を前面に押し出したデザイン案が提示された。

今年の学会ポスターは従来とは異なり、学術大会の開催案内を中心にしたデザインで作成中との報告があった。また、ポスターサイズを A2→A3 に変更したいとの要望が複数の理事からあり、了承された。

また、学会 HP の過去 3 年の PV 数について説明があった。昨年は大会期間中のアクセス数が多かったが、これは 2014 年から学術大会 HP が学会 HP と同じサーバーに設置したためであろうとの説明があった。

3. 新規入会希望者の承認

事務局より平成 26 年 11 月から平成 27 年 4 月の入会希望者 14 名（正会員 7 名、学生会員 6 名、シニア会員 1 名）のリストが提出され、全員の入会が承認された。

4. その他

- ・役員会の旅費規程について、中島事務局長から説明があった。
- ・会員動向報告があり、4 人増、24 人減でトータル 20 人減（平成 27 年 1 月 31 日から 4 月 23 日）とのことだった。退会者、滞納者のリストが示された。
- ・学会費の請求時期について、現在、年度の始め 4 月に請求書を送付しているが、学会の会計年度の境目である 10 月に請求時期も揃えたいという提案が事務局からあった。次回、H28 年度年会費から 10 月に請求書を送付する旨承認された。なお、会員が混乱しないように、請求時期の変更を知らせる文書を請求書に同封することになった（事務局）。
- ・平成 27 年 9 月 17 日の韓国室内環境学会（日韓台における MOU）への講演者を募集中（自薦、他薦問わず）との連絡があった。
- ・次回、理事会は 9 月の通常理事会とするが、議案があれば 7 月に臨時理事会を開催する。

以 上